

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

憲法改悪阻止

11.27 開催する

12.7

ジェット延長阻止

動労千葉支援 現地集会

主催：反対同盟
正午・岩山小学校
臨地へ全力結集

9条改正が既定の「20条（国）」
の先頭に立つて斗いぬいた。
その勢力が確保できれば改憲に
着手する」（梅内）。10月1日
の閣議では奥野法務大臣は鈴
木首相の施政方針演説から
「憲法順守」の言葉を削除
させ、各委員会審議でも「

以降、せきを切つたよう

に「改憲論議は自由。罷免
要求は脅迫であり言論封殺
だ」（梅内・奥野）と居直り、鈴木
首相もこれを追認。更に「

衆参両院で三分の二以上の
勢力が確保できれば改憲に
着手する」（梅内）。10月1日
の閣議では奥野法務大臣は鈴
木首相の施政方針演説から
「憲法順守」の言葉を削除
させ、各委員会審議でも「

長が「現行憲法には欠陥がある。第9条へ戦争放棄条項」を含め改正すべき」と
口火を切り、これをうけた
奥野法務大臣が8月27日衆院法務委員会で「現行憲法は占領軍の指示で制定されたものであり、自主憲法とは言いかたい」と公然と改憲運動を押し進めるなどを

表明した。

このように中で開かれた
11.27集会は、戦後的一切の
既得権を剥奪し、圧政と戦争を強制しようとするこの

攻撃に対し、労働者の怒り
が大きく蓄積され、これを

と鮮明に示すよう、会場は全国から結集した労働者2万5千名であふれ会場外でも集会がもたれるにまで至った。

動労千葉は、オ四回大会

で鮮明にうち出された「改憲攻撃を頂点とする軍事大

国化攻撃と対決し、三里塚ジエット闘争を水路に、全日本労働運動の戦闘的再生を

かけ総評傘下労働者との大胆な合流・けん引を勝ちとする。81年3月をかつてない

ストライキ態勢をもつてジエット燃料貨車輸送延長実力

阻止に繰り起する」方針を

かかげて、11.27日比谷集会の先頭に立つて斗いぬいた。

厳しく弾劾され、その破産的セクタ的本質を満天下にさらけ出し、コンコンと姿を消していった。我々は最後まで斗争を

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

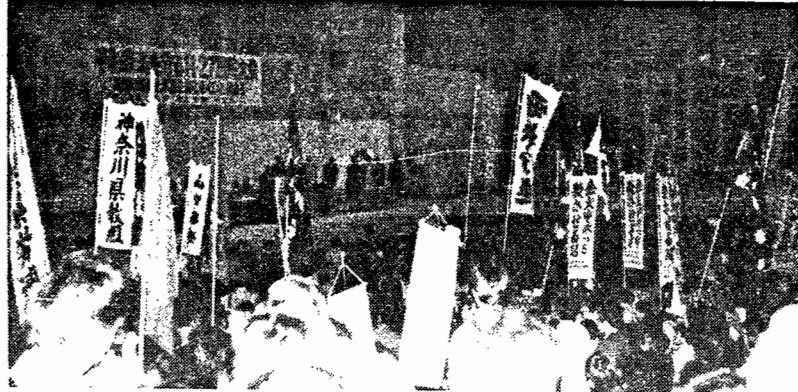
この日、動労千葉の登場

に焦った「本部」反動分子は今

井伊勢、中村（検修長）を先頭に車

マル学生とおぼしき正体不明の輩を使つて、会場入口にピケを張り、「千葉を入るな」と叫んでなくなりかかるなど、

ケ千葉敵対にうつたえたのであるが、われわれの毅然とした姿勢の前に粉砕され、あわせて主催者である総評と千葉



80.12.1
No. 595

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・六〇三二二七二〇七



11月27日、総評・護憲連合等の主催による「憲法改悪阻止国民大会」が日比谷野外音楽堂で開催された。動労千葉は、折からの第4回定期大会（11月28日）のさなか、青年部を軸とした全支部からの代表35名が参加し、「改憲阻止・日帝の軍事大国化粉碎－81.3ジエット決戦へ！」の横断幕を高々とかかげ、総評・千葉県労連傘下の労働者と固いスクランブルを組んで最後まで闘いぬいた。

桜内（自民党幹事長） 奥野（大臣）の挑発的発言をひびきに、全面的な改憲攻撃にうって出た政府・自民党

政府・自民党は今日、改憲攻撃を頂点として全面的な軍事大國化・反動化の攻撃を激化させている。

8月19日桜内自民党幹事

長が「現行憲法には欠陥がある。第9条へ戦争放棄条項」を含め改正すべき」と口火を切り、これをうけた奥野法務大臣が8月27日衆院法務委員会で「現行憲法は占領軍の指示で制定されたものであり、自主憲法とは言いかたい」と公然と改憲運動を押し進めるなどを

表明した。

この宗教活動の禁止は疑問、靖国参拝は合憲」と挑発的な改憲発言がくりかえされ、集約的に、このほど8年ぶりに憲法調査会（瀬戸山会長）は

10月13日初総会をひらき、253年を目前に次の選挙（83年）までには結論を出し国民に信を向う、との具体的な着手構想まで明らかにした。